



# ライセンスおよびソフトウェアアップデート

- [ライセンスの表示と管理 \(1 ページ\)](#)
- [ソフトウェアアップデートの管理 \(17 ページ\)](#)

## ライセンスの表示と管理

ライセンスによって、使用できる機能と、Cisco EPN Manager で管理できるデバイスのタイプおよび数が決まります。ログインせずに Cisco EPN Manager に接続すると、サーバーが実行しているライセンスのタイプを識別するバナーがログインページに表示されます ([Cisco EPN Manager ライセンスのタイプ \(2 ページ\)](#) を参照)。Cisco EPN Manager がシングルサインオン (SSO) を使用するように設定されている場合は、バナーの内容を表示してライセンスのタイプを確認します。

Cisco EPN Manager は、シスコスマートライセンスと従来のライセンスをサポートしています。現在、従来のライセンスを使用している場合は、スマートライセンスへの移行が推奨されます。2 種類のライセンスの違いについては、[Cisco.com](#) で紹介している Cisco Smart Licensing の概要を参照してください。リリース 5.0 以降、Cisco EPN Manager の新規インストールのすべてのインスタンスでスマートライセンスがデフォルトで有効になります。

EPN Manager ソフトウェアをバージョン 6.0.x または 6.1.x からバージョン 7.1 にアップグレードした後、以前にインストールされた EPN Manager 6.x や 4.x ライセンス、または適用された EPNM 6.x や 4.x スマートトークンは、EPN Manager 7.x によって引き続き認識されます。

つまり、EPN Manager バージョン 7.0 または後続の 7.x リリースをインストールした後に、EPN Manager 6.x または 4.x ライセンスをアップグレードする必要はありません。

次のトピックでは、シスコスマートライセンスと従来のライセンスの使用方法について説明します。

- [シスコスマートライセンスの使用 \(5 ページ\)](#)
- [従来のライセンスの使用 \(14 ページ\)](#)

## Cisco EPN Manager ライセンスのタイプ

Cisco EPN Manager 7.x リリースでは、簡素化された新しい EPN Manager 管理用ライセンスを使用することになりますが、EPN Manager 3.x および 4.x リリースで導入された管理用ライセンスは、EPN Manager 7.x リリースでも引き続き機能します。それ以降、Advanced RTM ライセンスは *Advantage Add-on RTM* ライセンスに変更され、Full RTM ライセンスは *Advantage RTM* ライセンスに変更されました。

次のトピックでは、Cisco EPN Manager でサポートされている機能と時間ベースのライセンスについて説明します。

### 使用権 (RTU) ライセンス

RTU ライセンス (基本ライセンスとも呼ばれる) は基本的ライセンスとして機能します。デバイス数の制限はなく、すべてのアプリケーションとデバイスドライバにアクセスできます。

基本ライセンスには、ノースバウンドライセンスも付帯しています。

### デバイスの管理用 (RTM) ライセンス

デバイスの RTM ライセンスを使用すると、特定のデバイスタイプの特定数のデバイスを管理できます。RTM ライセンスの場合、デバイス数はデバイス タイプの横に表示されます。



(注) サテライトとして設定されたデバイス (Cisco ASR 9000v ホストを備えた Cisco ASR 903 ルータ) は、独立したデバイスとしてカウントされます。

- RTM ライセンスは、特定のデバイスキャパシティ (つまり、小、中、大容量のデバイス) によって分類されます。
- ノードは、同等の RTM デバイス キャパシティ カテゴリを使用してのみ管理できます (たとえば、大容量 RTM ライセンスを使用して大容量ノードを管理できます)。

Cisco EPN Manager 7.x では、RTM を小規模および大規模に指定することで、次世代プラットフォームに移行する際に RTM ライセンスのポータビリティを実現できます。たとえば、Cisco ASR 901 ルータから次世代 Cisco NCS 520 デバイスに移行するユーザーは、両方のデバイスが小規模カテゴリに属するため、同じ Small RTM ライセンスを使用できます。

サイジングとデバイスグループに関する詳細については、『[Cisco EPN Manager Ordering Guide](#)』[英語] を参照してください。

Cisco EPN Manager は、サードパーティのネットワークデバイスも検出します。収集された情報は Web GUI に表示されますが、結果は大きく異なる場合があります (Cisco EPN Manager がデバイスから受信した応答によって異なります)。

RTM ライセンスは、GUI に次のように表示されます。

- シスコ デバイスの場合 : NCS 2002 や ASR 9001 などのデバイス モデル。
- サードパーティのデバイスの場合 : ジェネリック: サードパーティのデバイス。

RTM ライセンスには次の3つのタイプがあります。

### Essential 管理用 (RTM) ライセンス

Cisco Essential ライセンスは、デバイスインベントリ、シャーシビュー、トポロジ、アラーム、設定管理など、デバイスの管理性に関連するすべての機能とオプションを有効にする RTM ライセンスタイプです (EMS レベルの機能をカバーする RTM ライセンス)。

Cisco EPN Manager RTM には、Essentials、Advantage (旧称 Full)、Generic/サードパーティベンダーライセンスの3種類のライセンスが用意されています。Essential ライセンスは、Advantage Add-on (旧称 Advanced) RTM ライセンスを購入することで、Advantage ライセンスにアップグレードできます (下記を参照してください)。また、Essential ライセンスは、対応する Advantage Add-on ライセンスの前提条件となります。



(注) 変更されたのはライセンス名のみであり、ライセンスの内容は同じです。以前のライセンス名で購入されたライセンスに影響を与えることはありません。

ライセンスによる違いと付帯するサポートを次の表に示します。

Essential エンタイトルメント	Advantage Add-on エンタイトルメント	Generic/サードパーティベンダー エンタイトルメント
デバイスインベントリ (Device Inventory)	トランスポートビュー (OCHCC、MPLS-TE、MPLS-SR)	標準インストゥルメンテーション (MIB-II、LLDP MIB など) に基づくインベントリ情報を使用したデバイス検出
シャーシビュー* (シスコ非汎用デバイス)	サービスビュー (EVPNVPWS P2P、光回線、TDM2IP)	トラップサポート
トポロジ (物理、論理 (LLDP、CDP など)、および Geo マップ)	マルチレイヤトレースビュー	LLDP に基づく検出によるトポロジビュー (CDP を除く)
アラーム (関連なし)	高度な可視化 (マルチレイヤ、3D ビュー)	手動リンクの作成
メトリック (デバイスごと、SNMP ベースのメトリック)	エンドツーエンドトランスポート/サービスモニタリング (QoS、Y.1731)	テンプレートの実行 (ASCII CLI)
SWIM/設定管理	高度なアラームとメトリックのレポートおよびダッシュボード	

サポート範囲	エッセンシャル	Advantage RTM	Generic/サードパーティ
基本的なドライバサポート	対応	対応	対応
障害サポート	対応	対応	
MBC サポート	対応	対応	
パフォーマンスモニタリング	対応	対応	
SWIM と設定のアーカイブ	対応	対応	
コンプライアンス監査	対応	対応	
ライセンシング	対応	対応	対応
サービスの管理 : L2VPN		対応	
サービスの管理 : L3VPN		対応	
サービスの管理 : CEM/SATOP		対応	

### Advantage Add-on 管理用 (RTM) ライセンス

Cisco Advantage Addon Function RTM ライセンスは、Web GUI に Cisco Advantage Add-on 管理用ライセンスとして表示されます。

このライセンスは、サービスディスカバリ、プロビジョニング、サービスプロモーション、サービスアシュアランス、マルチレイヤトレースの各機能に関連するすべての機能とオプションを有効にします。これらの機能に関連する機能およびメニューオプションは、ライセンスがアクティブでない限り表示されません。また、スケジュールされたプロビジョニングジョブの実行はすべて失敗します。最初の Cisco Advantage Addon Right to Manage (RTM) ライセンスをインストールすると、これらの機能とオプションが有効になります。このライセンスの使用状況は、ライセンスダッシュボードで Cisco EPN Manager のライセンス機能によって追跡および報告されます。

### Advantage 管理用 (RTM) ライセンス

Essential と対応する Advantage Add-on ライセンスと一緒に簡単に注文できるように、Cisco EPN Manager では Advantage ライセンスが導入されました。Advantage RTM ライセンスは、Essential ライセンスと Advantage Add-on ライセンスを統合し、包括的なライセンスソリューションを提供します。

## 高可用性用の SBY ライセンス

スタンバイ (SBY) ライセンスでは、高可用性展開をセットアップできます。高可用性展開では、デバイス ライセンスと機能ライセンスのすべてをプライマリ サーバーにインストールする必要があります。

セカンダリサーバーでは追加ライセンスは必要ありません。

## ライセンスモデル

Cisco EPN Manager には、さまざまなユーザーのニーズに対応できるよう柔軟なライセンスオプションが用意されています。これらのライセンスモデルは、使用権のあるソフトウェアとその機能を提供します。提供されるライセンスモデルは次のとおりです。

- **サブスクリプション ライセンス**：サブスクリプション期間中の使用権を持つソフトウェア。一般的にサブスクリプションモデルは、最新の機能やイノベーションへの迅速なアクセスを提供し、予測可能性が高いコスト構造を備えています。これらのライセンスは、1年間、3年間、または5年間のサブスクリプションライセンスとして提供されます。サブスクリプションライセンスにより、アップグレードに加えてテクニカルサポートを利用できます。
- **永続的ライセンス**：無期限の使用権を持つソフトウェア。通常、永続的ライセンスはデバイスに固定されています。サポートとメンテナンスを維持するには追加の年間料金が必要です。アップグレードとテクニカルサポートを利用するには、永続的ライセンスを購入する際に、ソフトウェアイノベーションアクセス (SIA) サブスクリプションとテクニカルサポートサブスクリプションをそれぞれ別途購入する必要があります。これらのサブスクリプションは、1年、3年、または5年の期間で提供されます。
- **時間ベース (評価)**：90日間の試用期間 (試用期間が終了すると製品は無効になります)。時間ベースのライセンスを購入した場合、残り日数はライセンス名の横に表示されます。

Cisco EPN Manager は、Cisco Crosswork Essentials と Cisco Crosswork Advantage の2つのスイートオプションにパッケージ化された状態でも入手可能です。これらのスイートには、Crosswork ツールを個別に購入するよりもライセンスコストが低いという利点があります。詳細については、Crosswork Essentials および Advantage データシートを参照してください。

発注および価格に関する詳細については、シスコの営業担当者にお問い合わせください。また、『[Cisco EPN Manager Ordering Guide](#)』[英語]の詳細情報を参照してください。このガイドは、Cisco EPN Manager のライセンスを明確に理解するための参考資料です。

## シスコ スマート ライセンスの使用

シスコでは、シンプルで効率的なシスコ スマート ライセンスのメカニズムを使用してライセンスを管理することをお勧めしています。

スマートライセンスと従来のライセンスの比較は、[Cisco.com](#) のシスコ スマート ライセンスの概要に示されています。Cisco EPN Manager でスマートライセンスを有効にした後、Cisco.com の Cisco Smart Software Manager (CSSM) に Cisco EPN Manager を登録する必要があります。登

録すると、Cisco EPN Manager の Web GUI からすべての Cisco EPN Manager ライセンスタイプを使用できるようになります。

現在、従来のライセンスを使用している場合は、[従来型ライセンスからスマート資格への変換 \(10 ページ\)](#) で説明されているように、既存の Cisco EPN Manager ライセンスをいつでもスマート資格に変換できます。

以降のトピックでは、シスコのスマートライセンスを使用して Cisco EPN Manager ライセンスをセットアップし、管理する方法について説明します。

- [Cisco EPN Manager での Cisco Smart Licensing のセットアップ \(6 ページ\)](#)
- [スマート ライセンシングを使用した Cisco EPN Manager ライセンスの選択 \(9 ページ\)](#)
- [スマート ライセンス ダッシュボードのライセンスのしきい値の設定 \(11 ページ\)](#)
- [Cisco EPN Manager ライセンスの使用状況の確認 \(11 ページ\)](#)
- [スマート ライセンスの無効化 \(12 ページ\)](#)
- [参考：スマート製品の登録とライセンス認証ステータス \(13 ページ\)](#)

## Cisco EPN Manager での Cisco Smart Licensing のセットアップ

Cisco Smart Licensing を使用してライセンスを管理できるように、以下の手順に従って Cisco Smart Licensing をセットアップします。現在、従来のライセンスを使用している場合、これらの同じ手順を使用して Cisco Smart Licensing を使用し、都合の良いときに、[従来型ライセンスからスマート資格への変換 \(10 ページ\)](#) で説明されている手順に従って、既存の Cisco EPN Manager ライセンスを変換します。

	手順	参照先：
1.	Cisco Systems でスマート アカウントを作成します。	<a href="#">「Smart Account Request」</a> に移動し、Web サイトの指示に従います。
2.	Cisco EPN Manager と Cisco.com の CSSM の間の通信をセットアップします。	<a href="#">Cisco EPN Manager と Cisco Smart Software Manager との間のトランスポートモードの設定 (7 ページ)</a>
3.	Cisco EPN Manager でスマート ライセンスを有効にします。	<a href="#">Cisco EPN Manager でのスマート ライセンスの有効化 (7 ページ)</a>
4.	CSSM からトークンを取得し、Cisco EPN Manager Web GUI でそのトークンを入力することによって、Cisco EPN Manager を Cisco.com の CSSM に登録します。	<a href="#">Cisco Smart Software Manager への Cisco EPN Manager の登録 (8 ページ)</a>

5.	Cisco EPN Manager で使用するライセンスを選択します。	スマート ライセンシングを使用した Cisco EPN Manager ライセンスの選択 (9 ページ)
6.	ライセンスの使用状況をモニターできるように、スマートライセンスのダッシュボードをセットアップします。	スマートライセンス ダッシュボードのライセンスのしきい値の設定 (11 ページ)

## Cisco EPN Manager と Cisco Smart Software Manager との間のトランスポートモードの設定

**ステップ 1** [管理 (Administration)] > [設定 (Settings)] > [システム設定 (System Settings)] を選択し、[一般 (General)] > [アカウント設定 (Account Settings)] を選択します。

**ステップ 2** [スマートライセンスの転送 (Smart Licensing Transport)] タブをクリックして、通信モードを選択します。

- [ダイレクトモード (Direct mode)] : ライセンス情報を直接クラウドに送信します。これがデフォルトです。この URL は編集できません。[接続のテスト (Test Connectivity)] をクリックして、接続ステータスを確認します。
- トランスポート ゲートウェイ : Cisco Smart Call Home トランスポート ゲートウェイまたは Cisco Smart Licensing Software サテライト (顧客宅内にインストール通信にされ、CCSM の機能のサブセットを提供) を使用します。(詳細については [Cisco.com](#) を参照してください) 。[URL の入力 (Enter URL)] フィールドに適切な URL を入力します。[接続のテスト (Test Connectivity)] をクリックして、接続ステータスを確認します。
- HTTP/HTTPS プロキシ : Cisco EPN Manager とクラウド間の通信に HTTP または HTTPS プロキシを使用します。このオプションを有効にするには、まずプロキシ設定を行う必要があります。[HTTP/HTTPS プロキシ (HTTP/HTTPS Proxy)] ハイパーリンクをクリックして、または [プロキシ (Proxy)] タブをクリックして、プロキシの設定を追加または編集します。 [Cisco EPN Manager プロキシ サーバーの設定](#) を参照してください。

**ステップ 3** [保存 (Save)] をクリックして、転送設定を保存します。

**ステップ 4** デフォルト値に戻すには、[リセット (Reset)] をクリックしてから [保存 (Save)] をクリックします。

### 次のタスク

まだ有効化していない場合は、スマート ライセンスを有効化します。 [Cisco EPN Manager でのスマートライセンスの有効化 \(7 ページ\)](#) を参照してください。

## Cisco EPN Manager でのスマートライセンスの有効化

### 始める前に

トランスポートモードが設定されていることを確認してください。 [Cisco EPN Manager と Cisco Smart Software Manager との間のトランスポートモードの設定 \(7 ページ\)](#) を参照してください。

ステップ1 [管理 (Administration)] > [ライセンスとソフトウェアアップデート (Licenses and Software Updates)] > [スマートソフトウェアライセンスング (Smart Software Licensing)] の順に選択します。

ステップ2 Cisco EPN Manager Web GUI で Cisco Smart Licensing を有効にします。

- a) [ライセンス設定 (Licensing Settings)] タブをクリックします。
- b) [ライセンスングモード (Licensing Mode)] フィールドで、[スマートソフトウェアライセンスング (Smart Software Licensing)] ラジオ ボタンをクリックします。
- c) [製品名 (Product Name)] ドロップダウンリストから、[Evolved Programmable Network Manager Prime Infrastructure] を選択します。
- d) [スマートソフトウェアライセンスングの有効化 (Enable Smart Software Licensing)] をクリックします。この手順が完了したら、設定ステップに進む前に Web GUI を再起動する必要があることを示すダイアログボックスが Cisco EPN Manager に表示されることがあります。
- e) ダイアログボックスで [OK] をクリックします。
- f) 必要に応じて Web GUI からログアウトしてから、再びログインします。

### 次のタスク

次のいずれかを実行します。

- Cisco.com で CSSM に Cisco EPN Manager をまだ登録していない場合、Cisco EPN Manager は評価モードで実行されます (利用可能な期間は 90 日間)。Cisco Smart Software Manager への Cisco EPN Manager の登録 (8 ページ) の説明に従い、製品を登録します。
- CSSM に Cisco EPN Manager をすでに登録している場合は、使用するライセンスを選択します。スマートライセンスングを使用した Cisco EPN Manager ライセンスの選択 (9 ページ) を参照してください。

### Cisco Smart Software Manager への Cisco EPN Manager の登録

Cisco EPN Manager を CSSM に登録するには、CSSM からトークンを入手して、そのトークンを Cisco EPN Manager の Web GUI に入力する必要があります。この作業が必要になるのは 1 回限りです。何らかの理由で製品インスタンスを再登録する場合は、この手順に従ってください。



- (注) CSSM の使用方法やこのアプリケーションで実行できるその他の操作については、『Cisco Smart Software Manager User Guide』を参照してください。たとえば、ライセンス登録やライセンス認証の更新、Cisco Smart Licensing での製品の登録解除などがあげられます。



### 始める前に

組織にスマート アカウントがない場合は、[software.cisco.com](https://software.cisco.com) へ移動し、管理エリアで [スマート アカウントの申請 (Request a Smart Account)] を選択し、指示に従ってアカウントを作成します。

**ステップ 1** Cisco Software Central の Web サイト ([software.cisco.com](https://software.cisco.com)) に移動します。

**ステップ 2** トークンを取得します。すでにトークンを取得している場合 (たとえば、従来のライセンスング PAK をスマート資格に変換した場合は、次のステップに進みます。

製品インスタンスを再登録すると、トークンが CSSM のユーザー インターフェイスにリストされます。トークンが無効になっている場合は、次の手順に従って新しいトークンを取得できます。

1. Cisco Software Central で、[ライセンス (License)] > [スマートソフトウェアライセンスング (Smart Software Licensing)] を選択します。
2. 該当するバーチャルアカウントを選択します。
3. [全般 (General)] タブをクリックし、[新規トークン (New Token)] をクリックします。
4. 指示に従って名前、期間、輸出コンプライアンスの適用性を入力してから、諸条件や責任について同意してください。
5. [トークンの作成 (Create Token)] をクリックします。
6. トークン ID をクリップボードにコピーし、次のステップに進みます。

**ステップ 3** トークン ID を Cisco EPN Manager の Web GUI に入力し、製品を登録します。

1. [管理 (Administration)] > [ライセンスとソフトウェアアップデート (Licenses and Software Updates)] > [スマート ソフトウェア ライセンシング (Smart Software Licensing)] の順に選択します。
2. [ライセンス設定 (Licensing Settings)] タブをクリックし、[登録トークン (Registration Token)] フィールドにトークンを貼り付けます。
3. [登録 (Register)] をクリックします。

**ステップ 4** Cisco EPN Manager の Web GUI からログアウトして、もう一度ログインします。

### 次のタスク

使用するライセンスを選択します。[スマート ライセンシングを使用した Cisco EPN Manager ライセンスの選択 \(9 ページ\)](#) を参照してください。

## スマート ライセンシングを使用した Cisco EPN Manager ライセンスの選択

Cisco EPN Manager を CSSM に登録すると、すべての Cisco EPN Manager ライセンス タイプが Cisco EPN Manager Web GUI にリストされるので、その中から使用するライセンスを選択できます。

**ステップ 1** これが初回の場合、スマートライセンスを選択します。

- a) [管理 (Administration)] > [ライセンスおよびソフトウェアアップデート (Licenses and Software Updates)] > [ライセンス (Licenses)] を選択します。

しばらくすると、Cisco EPN Manager にダイアログボックスが表示され、従来のライセンスを使用していないためページにアクセスできないことが通知されます。これは正常です。

- b) ダイアログボックスで、[スマートライセンスの設定 (Smart License Settings)] をクリックします。  
c) [ライセンス設定 (Licensing Settings)] タブをクリックします。

**ステップ 2**すでにスマートライセンスを使用している場合は、以下の手順に従います。

- a) [管理 (Administration)] > [ライセンスとソフトウェアアップデート (Licenses and Software Updates)] > [スマートソフトウェアライセンシング (Smart Software Licensing)] の順に選択します。  
b) [ライセンス設定 (Licensing Settings)] タブをクリックします。

**ステップ 3** [スマートライセンスの使用状況 (Smart License Usage)] で、[ライセンスの選択 (Choose Licenses)] をクリックします。

**ステップ 4** [使用可能なライセンス (Available Licenses)] ダイアログボックスでライセンスを選択してから、[保存 (Save)] をクリックします。Cisco EPN Manager がただちに、そのライセンスを使用し始めます。

### 次のタスク

新しいライセンスに対するスマートライセンスダッシュボードのしきい値を設定します。[スマートライセンスダッシュボードのライセンスのしきい値の設定 \(11 ページ\)](#) を参照してください。

## 従来型ライセンスからスマート資格への変換

従来型のライセンシングを使用して Cisco EPN Manager ライセンスを管理している場合、[Cisco EPN Manager](#) での [Cisco Smart Licensing のセットアップ \(6 ページ\)](#) で説明しているセットアップタスクに従うことで、Smart Licensing を設定できます。都合のよいときに、この手順で説明するように既存の従来型ライセンスをスマート資格に変換してください。Cisco Software Central サイトにあるライセンス登録ポータルで製品アクティベーションキー (PAK) 番号を入力する必要があります。

### 始める前に

- Cisco Software Central にアクセスするには、Cisco.com アカウントが必要です。アカウントをお持ちでない場合は、[Cisco Software Central](#) に移動します。
- 既存の従来型ライセンスの PAK 番号が割り当てられていることを確認します。

**ステップ 1** Cisco Software Central で、[ライセンス (License)] > [従来のライセンス (Traditional Licensing)] の順に選択します。

- ステップ2 [製品ライセンス登録を続行 (Continue to Product License Registration)] をクリックしてライセンス登録ポータルを開きます。
- ステップ3 [新規ライセンスの取得 (Get New License)] フィールドに PAK 番号を入力します。複数の PAK を入力する場合は、カンマで区切ります。10 PAK まで入力できます。
- ステップ4 [PAK/トークン (PAKs/Tokens)] タブで、スマート資格に変換する PAK を選択してから、[アクション (Actions)] > [スマート資格への変換 (Convert to Smart Entitlements)] の順に選択します。

## スマートライセンス ダッシュボードのライセンスのしきい値の設定

ライセンスを効率的に管理するには、Cisco EPN Manager のライセンスの失効期限が近づいていることを示すようにスマートライセンス ダッシュボードを設定します。ここで構成した設定はシステム全体に影響します。

- ステップ1 [管理 (Administration)] > [ライセンスおよびソフトウェアアップデート (Licenses and Software Updates)] > [スマートソフトウェアライセンシング (Smart Software Licensing)] を選択してから、[ライセンスダッシュボードの設定 (License Dashboard Settings)] タブをクリックします。
- ステップ2 [ライセンスタイプ (License Type)] ドロップダウンリストから選択します。
- ステップ3 [しきい値 (Threshold Value)] フィールドに、値を入力します。
- ステップ4 [保存 (Save)] をクリックします。

しきい値は[ライセンスの要約 (License Summary)] と [ライセンスのデバイスディストリビューション (Device Distribution for License)] のグラフ表示の直線として表されます。



- (注) ライセンスが準拠か非準拠かにかかわらず、しきい値を作成してもライセンスのステータスには影響しません。また、システム警告イベントやアラームはトリガーされません。代わりに、制限が近づいていることを示す水平線を[ライセンス (Licensing)] ダッシュボードに設定する機能が用意されています。

## Cisco EPN Manager ライセンスの使用状況の確認

[スマートライセンス (Smart Licensing)] ダッシュボードを使用して、現在のライセンスの使用状況を確認します。ダッシュボードを開くには、[管理 (Administration)] > [ダッシュボード (Dashboards)] > [ライセンスダッシュボード (Licensing Dashboard)] を選択します。基本的なライセンスのタイプについては、[Cisco EPN Manager ライセンスのタイプ \(2 ページ\)](#) を参照してください。

これらのライセンス数を表示するための手順	ダッシュボードで確認する部分
現在の日付	[ライセンスの要約数 (License Summary Count) ]: 緑は準拠ライセンス数を示します。赤は非準拠ライセンス数を示します。
特定の週または月	[ライセンスの要約 (License Summary) ]: 棒グラフにカーソルを合わせるとより詳しい説明が表示されます。
特定のライセンスタイプ	[ライセンスのデバイス配布 (Device Distribution for License) ]: [ライセンスの要約 (License Summary) ]ダッシュレットの上部にあるライセンスリンクのいずれかをクリックします。詳細を表示するには、グラフにカーソルを合わせます。

## スマート ライセンスの無効化

**ステップ 1** Cisco EPN Manager Web GUI でライセンス設定を変更します。

- [管理 (Administration) ] > [ライセンスおよびソフトウェア アップデート (Licenses and Software Updates) ] > [スマート ソフトウェア ライセンシング (Smart Software Licensing) ] を選択します。
- ページの下部で [スマート ライセンスの無効化 (Disable Smart Licensing) ] をクリックして、選択内容を確認します。

**ステップ 2** Cisco EPN Manager Web GUI からログアウトして、もう一度ログインします。

Cisco EPN Manager はまだ従来のライセンスを使用するよう登録されていないため、再度ログインすると、すべての機能が無効になります。これは正常です。

**ステップ 3** Cisco EPN Manager Web GUI で、従来のライセンスを有効にします。（この処理は [スマート ライセンスの設定 (Smart License Settings) ] ページで行います）

- [管理 (Administration) ] > [ライセンスおよびソフトウェア アップデート (Licenses and Software Updates) ] > [ライセンス (Licenses) ] を選択します。

しばらくすると、Cisco EPN Manager にダイアログボックスが表示され、従来のライセンスを使用していないためページにアクセスできないことが通知されます。これは正常です。

- ダイアログボックスで、[スマート ライセンスの設定 (Smart License Settings) ] をクリックします。
- [ライセンス設定 (License Settings) ] タブをクリックします。
- [ライセンス モード (Licensing Mode) ] で [従来のライセンス (Traditional Licensing) ] を選択します。
- [登録 (Register) ] をクリックします。

**ステップ 4** Cisco EPN Manager からログアウトして、再度ログインします。

## 参考：スマート製品の登録とライセンス認証ステータス

### 製品登録ステータス

ライセンス登録ステータスは、製品が Cisco.com のシスコ スマート ソフトウェア ライセンシングに正常に登録されているかどうかを表します。

ライセンス登録ステータス	説明
未登録	スマートソフトウェア ライセンシングは Cisco EPN Manager で有効になっていますが、Cisco EPN Manager は CSSM に登録されていません。
登録済み	Cisco EPN Manager は、CSSM に登録されています。Cisco EPN Manager は ID 証明書を受信しています。この ID 証明書は、将来シスコのライセンス担当者との通信に使用されます。
この登録通知の有効期限が切れました	Cisco EPN Manager は有効期限までに正常に登録を更新できず、CSSM から削除されています。

### ライセンス認証ステータス

ライセンス認証ステータスは、購入したライセンスに対するライセンスの使用状況、および Cisco Smart Licensing に準拠しているかどうかを表しています。購入したライセンス数を超えると、その製品ステータスは**コンプライアンス違反**となります。

ライセンス認証ステータス	説明
評価モード	Cisco EPN Manager は、評価モードで実行されています（90 日で期限切れになります）。
承認済み (Authorized)	Cisco EPN Manager に有効なスマート アカウントがあり、登録されています。製品が要求するすべてのライセンスの使用が承認されています。
コンプライアンス違反	Cisco EPN Manager は、購入されたライセンス数を超過しました。（特に、製品インスタンスの仮想アカウントに、1 つ以上のライセンス タイプが不足しています）。
評価期限切れ	評価期間が終了し、Cisco EPN Manager はライセンスなしの状態になります。
認証が期限切れ	Cisco EPN Manager は、認証の有効期限前に、ライセンス認証を正常に更新できませんでした。

## 従来のライセンスの使用



- (注) シスコ スマート ライセンスに変換することをお勧めします。Cisco EPN Manager での [Cisco Smart Licensing のセットアップ \(6 ページ\)](#) を参照してください。スマート ライセンスを使用していて、従来のライセンスをもう一度有効にする場合は、[スマート ライセンスの無効化 \(12 ページ\)](#) を参照してください。

Cisco EPN Manager は、4 時間ごとに従来のライセンスを確認し、ステータスをライセンス ログ (/opt/CSOlumus/logs/license.log) に書き込みます。時間ベースのライセンスの有効期限が切れると、アクティブなセッションを使用しているユーザーは [ライセンス (Licenses) ] ページにリダイレクトされ、新しいユーザーはログインできなくなります。RTM ライセンスのデバイス数が超過している場合は、次のいずれかを実行します。

- デバイスの一部を削除します。毎日のインベントリ収集の後、デバイスは [管理対象 (Managed) ] として表示されます。
- RTM 数が多いライセンスを取得します。[従来のライセンスの追加と削除 \(14 ページ\)](#) を参照してください。

従来のライセンスの詳細については、次のトピックを参照してください。

- [Cisco EPN Manager ライセンスのタイプ \(2 ページ\)](#)
- [従来のライセンスの表示 \(14 ページ\)](#)
- [従来のライセンスの追加と削除 \(14 ページ\)](#)
- [従来のライセンスの別のサーバーへの移動 \(15 ページ\)](#)

## 従来のライセンスの表示

現在インストールされている従来の Cisco EPN Manager のライセンスを表示するには、[管理 (Administration) ] > [ライセンスとソフトウェア更新プログラム (Licenses and Software Updates) ] > [ライセンス (Licenses) ] を選択します。Cisco EPN Manager は、[基本ライセンス (Base License) ] の下のリストに表示されているライセンスをサポートしています。



- (注) マルチシェルフ デバイスの各シャーシは、個別のライセンスを使用します。たとえば、Cisco NCS 2006 デバイスに 3 つのシャーシがある場合、そのデバイスでは 3 つのライセンスが使用されます。

## 従来のライセンスの追加と削除

新しい従来のライセンスをインストールするには、元のライセンスが既にサーバー上に存在している必要があります。ライセンスのコピーを作成しないでください。新しい従来のライセンスを購入するには、[www.cisco.com/go/license](http://www.cisco.com/go/license) に移動します。ライセンスを正しい順序でインストールしていることを確認します。たとえば、他のライセンスで必要となるため、基本ライセンスを最初にインストールする必要があります。

ライセンスを削除すると、ライセンスの情報すべてがサーバーから削除されます。



**注意** ライセンス ファイルに手動で変更を加えた場合、Cisco EPN Manager はファイルが破損していると思なしてそのファイルをインストールしません。この場合は、新しいライセンスファイルを取得します。

**ステップ 1** [管理 (Administration)] > [ライセンスとソフトウェア アップデート (Licenses and Software Updates)] > [ライセンス (Licenses)] の順に選択します。

**ステップ 2** [ファイル (File)] > [ライセンス ファイル (License Files)] を選択します。

- ライセンスを追加するには、[追加 (Add)] をクリックして [ファイルの選択 (Choose File)] をクリックし、ライセンス ファイルの場所を参照し、**OK** をクリックします。
- ライセンスを削除するには、ライセンス ファイルを選択して [削除 (Delete)] をクリックします。

## 従来のライセンスの別のサーバーへの移動

ライセンスを別のサーバーに移動する必要があるのは、高可用性を使用していて、サーバーに障害が発生した場合のみです。ライセンスを削除する必要がある場合は、[従来のライセンスの追加と削除 \(14 ページ\)](#) を参照してください。ライセンスを移動するには、次の手順を実行します。

**ステップ 1** 元のサーバーから従来のライセンスを削除します。

**ステップ 2** 電子メールを [licensing@cisco.com](mailto:licensing@cisco.com) に送信し、従来のライセンスの「再ホスト」を要求します。

**ステップ 3** 従来のライセンスを受け取ったら、新しいサーバーにインストールします。

## 期限切れのライセンスの更新

Cisco EPN Manager のライセンスの有効期限が切れている場合は、次の手順を実行して更新できます。

**ステップ 1** [管理 (Administration)] > [ライセンスとソフトウェア アップデート (Licenses and Software Updates)] > [ライセンス (Licenses)] の順に選択します。

[ライセンス (Licenses)] ページを開きます。

**ステップ 2** 次のいずれかを実行します。

- ページの左上に [要約 (Summary)] と [ファイル (Files)] メニューが表示されている場合は、ステップ 4 に進みます。

## ■ ライセンス ダッシュボードの表示

- これらのメニューが表示されていない場合は、まず従来のライセンスを登録する必要があります。ステップ 3 に進みます。

**ステップ 3** 従来のライセンスを登録し、この手順のステップ 1 に戻ります。

- a) [管理 (Administration)] > [ライセンスおよびソフトウェア アップデート (Licenses and Software Updates)] > [スマートソフトウェア ライセンシング (Smart Software Licensing)] を選択します。
- b) [ライセンス設定 (Licensing Settings)] タブを選択し、[従来のライセンス (Traditional Licensing)] オプション ボタンをクリックし、[登録 (Register)] をクリックします。
- c) Cisco EPN Manager からログアウトしてから、ログインし直します。

**ステップ 4** ページの左上の領域から、[ファイル (Files)] > [ライセンス ファイル (License Files)] を選択します。

[ライセンス ファイル (License Files)] ページが開きます。

**ステップ 5** 更新するライセンス ファイルを選択します。

- a) [追加 (Add)] をクリックします。  
[ライセンス ファイルの追加 (Add A License File)] ダイアログボックスが表示されます。
- b) [ライセンス ファイルの選択 (Select License File)] フィールドで、[ファイルの選択 (Choose File)] をクリックします。
- c) 適切なライセンス ファイルまで移動してクリックし、[開く (Open)] をクリックします。
- d) [OK] をクリックします。

**ステップ 6** Cisco EPN Manager からログアウトしてから、ログインし直します。

---

## ライセンス ダッシュボードの表示

[ライセンス (Licensing)] ダッシュボードから、従来のライセンスまたはスマートソフトウェア ライセンシングが有効になっているかどうか ([アクティブなライセンス モード (Active Licensing Mode)] フィールドで示される) を判別したり、現在使用されているライセンスの数を表示したりできます。ライセンスモードは、[スマートソフトウェアライセンシング (Smart Software Licensing)] ページ ([管理 (Administration)] > [ライセンスおよびソフトウェア アップデート (Licenses and Software Updates)] > [スマートソフトウェアライセンシング (Smart Software Licensing)]) から設定できます。

このダッシュボードを開くには、次のいずれかを実行します。

- [管理 (Administration)] > [ダッシュボード (Dashboards)] > [ライセンス ダッシュボード (Licensing Dashboard)] を選択します。
- [スマートソフトウェア ライセンシング (Smart Software Licensing)] ページの右上にある [ライセンス ダッシュボード (Licensing Dashboard)] リンクをクリックします。

ダッシュボードに表示される情報は、有効になっているライセンス モードによって異なります。スマートソフトウェアライセンシングが現在有効になっている場合は、次のダッシュレットが表示されます。



- [ライセンスの要約数 (License Summary Count) ] 領域：使用されるライセンスの数と、各ライセンス タイプのコンプライアンス状態が表示されます。表示されるライセンスの数は、現在の日付に基づいています。
- [ライセンスの要約 (License Summary) ] ダッシュレット：特定の期間に各ライセンス タイプで使用されるライセンスの棒グラフが表示されます。追加情報を表示するには、グラフの上にカーソルを置きます。
- [ライセンスのデバイス ディストリビューション (Device Distribution for License) ] ダッシュレット：特定のライセンスのデバイス ディストリビューション グラフを表示するには、[ライセンスの要約 (License Summary) ] ダッシュレットに表示されたグラフの上部にあるリンクをクリックします。追加情報を表示するには、グラフの上にカーソルを置きます。



- (注) [ライセンスダッシュボード (License Dashboard) ] に表示される情報は、SmartLicense ジョブが午前2時 (事前設定されている実行時間) に実行された後、毎日更新されます。[ジョブダッシュボード (Job Dashboard) ] にこのジョブを表示するには、[管理 (Administration) ] > [ダッシュボード (Dashboards) ] > [ジョブダッシュボード (Job Dashboard) ] を選択します。

従来のライセンスが現在有効になっている場合は、[ライセンス (Licensing) ] ダッシュボードに [従来のライセンス (Traditional Licensing) ] ダッシュレットが表示されます。[ライセンスタイプ (License Type) ] ドロップダウンリストから対応するオプションを選択して、Small、Medium、Large、Generic ライセンスに関する情報を表示するかどうかを指定します。ダッシュレットが更新され、そのライセンス タイプを持つデバイス ファミリ、それらのファミリの各デバイスに割り当てられているトークンの数、現在使用されていないトークンの数などの情報が表示されます。

#### 関連トピック

[Cisco EPN Manager での Cisco Smart Licensing のセットアップ](#) (6 ページ)

[Cisco EPN Manager でのスマート ライセンスの有効化](#) (7 ページ)

[Cisco Smart Software Manager への Cisco EPN Manager の登録](#) (8 ページ)

[スマート ライセンス ダッシュボードのライセンスのしきい値の設定](#) (11 ページ)

[スマート ライセンスの無効化](#) (12 ページ)

[参考：スマート製品の登録とライセンス認証ステータス](#) (13 ページ)

## ソフトウェア アップデートの管理

- [ソフトウェア アップデートとは](#) (18 ページ)
- [インストール済み製品ソフトウェアのバージョンの表示](#) (18 ページ)
- [ソフトウェア アップデートに関する通知の有効化または無効化](#) (19 ページ)
- [インストール済みのソフトウェア アップデートの表示](#) (19 ページ)

## ソフトウェア アップデートとは

シスコでは、Cisco EPN Manager ソフトウェアに対するアップデートを定期的に提供しています。これらのアップデートは、次のカテゴリに分類されます。

- **重要修正**：ソフトウェアの重要な修正を提供します。これらのアップデートが利用可能になったら、ただちにこれらのすべてをダウンロードして適用することが強く推奨されます。
- **デバイス サポート**：Cisco EPN Manager がリリース時点でサポートしていなかったデバイスを管理するサポートを追加します。
- **アドオン**：現在使用中の Cisco EPN Manager バージョンを補完するための新しい機能を提供します（新しい GUI 画面や機能が含まれることもあります）。これには、Cisco EPN Manager のメンテナンス パックとメンテナンス パック ポイント パッチが含まれます。

Cisco EPN Manager に表示されるアップデート通知は、管理者によって指定された通知設定によって異なります。[ソフトウェア アップデートに関する通知の有効化または無効化（19 ページ）](#)を参照してください。すべてのソフトウェア アップデートが .ubf ファイルにパッケージ化されます。大容量のアップデートには、インストールするものを選択可能な個別の小容量のアップデートが含まれている場合があります。アップデートをインストールすると、Cisco EPN Manager が次の処理を実行します。

- ファイルの発行者が Cisco Systems であり、ファイルが改ざんされていないことを確認する
- 必要な他のアップデートを自動的にインストールする

<http://www.cisco.com> に接続できる場合は、Cisco.com から直接アップデートをダウンロードしてインストールできます。インターネット接続がない場合は、必要な接続を備えたサーバーからアップデートをコピーして、そこからインストールします。

メンテナンス パックのインストール手順については、『[Cisco EPN Manager Installation Guide](#)』を参照してください。ポイントパッチのインストール手順については、Cisco.com のソフトウェアダウンロードのページのパッチファイルに付属する readme ファイルを参照してください。

## インストール済み製品ソフトウェアのバージョンの表示

次のいずれかの方法で Cisco EPN Manager 製品バージョンを確認します。

- Web GUI から、ページの右上の設定アイコンをクリックし、[ヘルプ (Help)] > [Cisco EPN Manager] について (About Cisco EPN Manager) ] を選択します。
- CLI から、次の名前のファイルの内容を表示します。

```
#cat /opt/CSColumos/installedComponentsVersions.xml
```

CLI を使用するには、[Cisco EPN Manager サーバーとの SSH セッションの確立](#)を参照してください。

## インストール済みのソフトウェア アップデートの表示

Web GUI にログインしていない場合は、ログイン ページから [インストール済みアップデートの表示 (View Installed Updates)] をクリックすると、ソフトウェア アップデートを一覧表示するポップアップ ウィンドウを表示できます。

Web GUI にログインしている場合は、次の 2 つの方法でソフトウェア アップデートを表示できます。

- [Cisco EPN Manager のバージョン情報 (About Cisco EPN Manager)] ページで、ページの右上にある設定アイコンをクリックし、[Cisco EPN Manager のバージョン情報 (About Cisco EPN Manager)] をクリックしてから、[インストール済みアップデートの表示 (View Installed Updates)] をクリックします。 ([インストール済みアップデートの表示 (View Installed Updates)] リンクは、ログイン ページにもあります)。
- [管理 (Administration)] > [ライセンスおよびソフトウェア アップデート (Licenses and Software Updates)] > [ソフトウェア アップデート (Software Update)] を選択します (この方法を使用すると、最も詳細な情報が表示されます)。

[ソフトウェア アップデート (Software Update)] ページに 2 つのタブが表示されます。

- インストール済みの更新プログラム (Installed Updates) : Cisco EPN Manager で現在使用されているアップデート。
- アップロード済みアップデートファイル (Uploaded Update Files) : サーバーにアップロードされているアップデートファイル (使用されていないファイルを含む)。 [対応するアップデート (Corresponding Updates)] フィールドには、アップロード済みの前提条件のアップデートも一覧表示されます。

アップデートファイルがまだインストールされていない場合は、削除できます。ファイルを選択し、[削除 (Delete)] ボタンをクリックします。

## ソフトウェア アップデートに関する通知の有効化または無効化

デフォルトでは、Cisco EPN Manager は [ソフトウェア アップデート (Software Updates)] ページに有効なすべてのアップデートに関する情報を表示します。このリストはかなり長くなる場合があるため、表示する内容と通知対象とするアップデートを調整することをお勧めします。また、すべての通知を無効にして、後で再び有効にすることもできます。

ソフトウェア アップデートの通知を設定します。

- a) [管理 (Administration)] > [設定 (Settings)] > [システム設定 (System Settings)] の順に選択し、[一般 (General)] > [ソフトウェア アップデート (Software Update)] を選択します。
- b) [通知設定 (Notification Settings)] で、アップデートのカテゴリをオンまたはオフにします。すべての通知を無効にするには、カテゴリが 1 つもオンになっていない状態にします。カテゴリの説明については、次を参照してください。 [ソフトウェア アップデートとは \(18 ページ\)](#)

- c) [保存 (Save) ]をクリックします。
-

## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。